

支所のあり方に関する検討報告書に対する指摘事項と対応

○支所のあり方に関する検討報告書（案）

該当箇所	指摘事項	対応（考え方）
7 ページ	【主な意見】 下から 5 行目 ミニマル ⇒ ミニマム	・ 修正案のとおり変更します。
	<p>今後の課題 緒言で述べた”本来あるべき姿”に対し、今回一挙にはできないため「今後の課題」として見送った事項について報告する。（一部の委員からの少数意見も含めて・・・） 例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな支所（できればなくす） & 大きな本所 ⇒ 笠間 & 岩間に複数の「出張所」を設置 ・ シンプル組織 & フラットな組織 ⇒ 部・課等を大胆に見直し組織間の垣根を除去 支所には、1つの課があればよい。 ・ 支所から本所にシフトした業務の統合効果創出について ⇒ 単なる From & To では NG 余った人材は、笠間市飛躍発展のために新しい施策を断行するための要員とする等 ・ IT ツール駆使による改善の推進 ⇒ テレビ & スカイプの活用 e t c ・ 大胆な”権限移譲”の断行 	<p>・ 採用可能な意見については、採用します。ただし、全体構成があることから、一部の意見については、委員長との協議及び委員会において調整します。</p>
8 ページ	<p>【主な意見】 の上から 3～4 行 一部追加、修正（全文） ⇒ 2 課がいい。違いは課長、課長補佐が 2 人か 3 人かであり、仕事をするうえで 2 課では課長の負担が特に重くなるとは考えられない。 市民が利用するには、2 課 3 課変わりはない。2 課なら同じ市民サービスで人件費が両支所合わせて年間 2 千数百万削減できる。</p>	<p>・ 委員会は公開であり、会議録は笠間市公式ホームページに公開することから、委員本人が発言していない内容を追記することは不適切と判断します（※「2 千数百万」については、第 7 回委員会において発言した内容）。</p> <p>・ その他の文言の入替えについては、発言趣旨は変わらず、読みやすくするための整理であることから、委員提案を採用しました。また、事務局で一部追記（円）をしました。</p>
9 / 10 の 検討委員会 報告書（未	<p>下から 14～13 行 「役所の中のいろいろな課と比べますと……思うんですよね」 ⇒ 役所の中のいろいろな課と比べてです。</p>	<p>・ 修正案のとおり変更します。</p>

該当箇所	指摘事項	対応（考え方）
定校) の 5 ページ	<p>下から 7 行後半部分 流れでやりやすいと言いましたけど ⇒ 流れでやりやすいと言う意見がありましたけど</p>	<ul style="list-style-type: none"> 修正案のとおり変更します。
	<p>下から 3 ～ 2 行目 「年間何百万円かの違いが出てくると思うんですね」 ⇒ 両支所合わせると、人件費が年間 2 千数百万削減出来ると思うんですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 委員会は公開であり、笠間市公式ホームページに公開する会議録から記載していることから、委員本人が発言していない内容を追記することは不適切と判断します（※「2 千数百万」については、第 7 回委員会において発言した内容）。
1 ページ	<p>1 - (2) 支所の組織・機構について、のはじめの 2 行 ⇒ 課の数については、2 課 3 課案（イメージ）をもとに議論したが 2 課が良い 名、3 課がいい 名で絞りこむことは出来なかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「イメージ」及び「絞りこむことは出来なかった」については採用し、検討結果を整理します。 委員会で採決したことが無いこと及び委員の意見を併記することから、○名の記載は不適切と判断します。

○支所のあり方に関する検討報告書（二次案）

該当箇所	指摘事項	対応（考え方）
1 ページ 4 行目	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民サービスを大幅に減少させないで」の文言を入れたほうが良いと思います。 ⇒ 4 行目・・・において検討を進めました。この結果、<u>市民サービスを大幅に減少させない前提で、支所組織を簡素化し、取扱業務を縮小していくべき</u>という意見が大勢を占めました。 ・全体に文章が長すぎるので途中で「。」を入れて文章を短く区切るべきかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修正案のとおり変更します。
1 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の検討に際しては、委員会の意見だけでなく、市民がどのように感じ希望しているかを把握するため「アンケート調査」を実施しましたが、このことに言及していないと思われます。ページ25には、書かれています。最初の緒言で触れるべきかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘のとおり修正（追記）します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の一次案で要望しましたが・・・ ①予想効果が欠落している。 定量的効果と定性的効果を報告するべきあると思います。 現状を見直し改革案を答申するので効果（＝費用対効果）は必須であると考えます。 これがなければ、決裁者（市長&議会）は賛否の判断ができないと思います。 ②今後の課題が欠落している。 “本来あるべき姿”に対し、今回一挙にはできないため「今後の課題」として見送った事項を明確にすべきであると考えます。 具体的課題の例は、1次案の意見で書いた通りなので省略します。 (5件) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな支所（できればなくす）&大きな本所⇒笠間&岩間に複数の「出張所」を設置 ・シンプル組織&フラットな組織⇒部・課等を大胆に見直し組織間の垣根を除去 支所には、1つの課があればよい。 ・支所から本所にシフトした業務の統合効果創出について⇒ 単な </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会です承が得られれば修正します。 ①については、委員会で予想効果について議論されていないことから、予想効果（定量的効果、定性的効果）を入れることは、難しいと考えます。 なお、委員会の報告書を受けた後、市役所内部での検討及び議会との協議等が必要となります。その時点で費用対効果、提供すべきサービスの判断等を行い、最終的に市長が決定することになります。 ②については、委員会です承が得られれば修正します。 なお、二次案では、提案の課題の一部を付帯意見に追加しました。また、それ以外の提案の内容については、「結論に至った経緯」において触れています。

該当箇所	指摘事項	対応（考え方）
	<p>る From&To ではNG 余った人材は、笠間市飛躍発展のために新しい施策を断行するための要員とする等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITツール駆使による改善の推進⇒テレビ&スカイプの活用 etc ・大胆な”権限移譲”の断行 	